



図書館だより

宇都宮市立陽北中学校 令和8年 1月号



新しい年がスタートしました。今年はどんな年にしたいですか？寒い日が続きますので、体調を崩さないように気をつけましょう。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

陽北中 Book of the year 2025 結果発表

2025年に読んだお気に入りの本のランキングです！



『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』汐見夏衛/著 スターツ出版 (81ポイント)

- ・戦争の残酷さや悲惨さを知ることができ、家族や友人・恋人などの大切さを教えてくれるところがとても素敵だなと思ったから。(1年)
- ・戦争中の時代に現代の女の子がいるって最初は変な話だなと思ったけれど、読んでみたらとても感動して、それと同時に昔は本当に大変だったんだなとたくさん感じたからです。(2年)



『謎の香りはパン屋から』土屋うさぎ/著 宝島社 (71ポイント)

- ・自分も謎を解きながら読むことができるし、謎の内容も難しすぎずちょうどよい難易度だったから。(1年)
- ・パンが好きなのと小さな謎ミステリーとパン屋の物語が面白いから。(1年)



『変な家』雨穴/著 飛鳥新社 (68ポイント)

- ・何回見ても面白い本だから。内容が怖いけど面白い。そういうこと？！ってなるから。(2年)
- ・じわじわくる不気味さがとてもいい。(2年)

4位 『#真相をお話します』結城 真一郎 // 著 新潮社 (67ポイント)

- ・五話構成の話になっていて一話ずつ最後の方にどんでん返しがあり読み進めるのが楽しいから。(3年)

5位 『変な絵』雨穴 // 著 双葉社(55ポイント)

- ・絵の中に隠された違和感に気づくと、ゾクツとするミステリー小説だからです。(1年)

集計ポイント
 1位 10ポイント
 2位 7ポイント
 (6位以降は陽北 Libraryで発表)

「陽北中 Book of the year 2025」への協力ありがとうございました。なんと、1位は昨年と同じ『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』となりました。3位の『変な家』も昨年度2位。この二作品は続編のシリーズも人気でした。また、『変な家』は2年生、『謎の香り〜』は1年生からの投票が多く、『あの花〜』は全学年からの支持を得ていました。面白かった本を友達にすすめてくれた人が多かったのかな？これからも面白かった本をお互いに勧め合ってみてくださいね。ランキングに入った本は学校図書館にありますので、ぜひ手に取ってみてください。

「陽北 Library」で予約すると教室まで本をお届けします

12/11~12/25 冬の読書週間



読書ビンゴ

しおりコンテスト入賞作は、
陽北 Library 及び 2月号で
発表します



シリーズとして投票してくれた人も多かったため、シリーズごとの集計も行いました。

- ① 変な家 シリーズ 170p
- ② あの花が咲く丘で、シリーズ 105p
- ③ 5分後に意外な結末 シリーズ 74p

1・2年は作成した
POPを使って、各
クラスでブックト
ークを行いました。

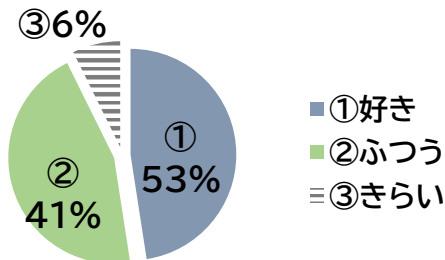


読書アンケート 集計結果

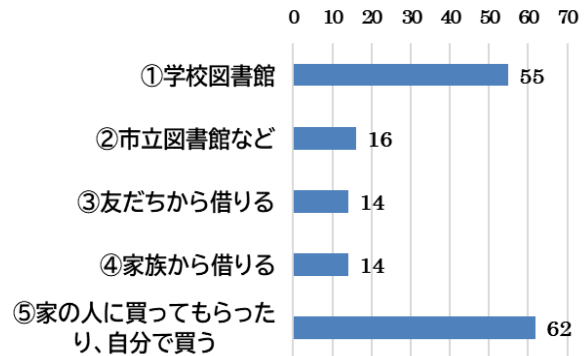


宇都宮市の小中学校で、読書についてのアンケートが行われました。本校も各学年1クラスに代表で、アンケートに答えてもらいました。協力してくれたクラスのみなさん、ありがとうございました。結果をみると、「楽しい」「考える力や想像する力がつく」と回答してくれた人が多かったようです。これからも、本を読むことを習慣にしてください。(各学年1クラス 計80名回答)

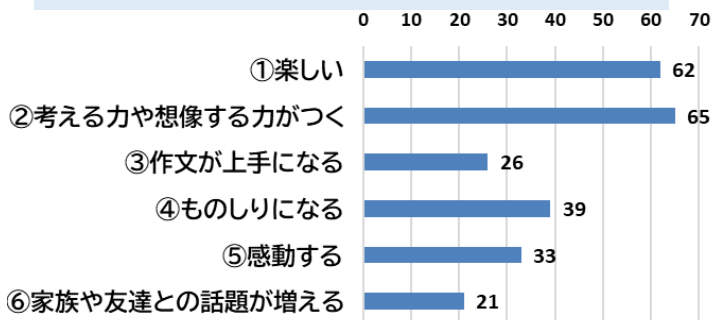
問：あなたは、本を読むことが好きですか？



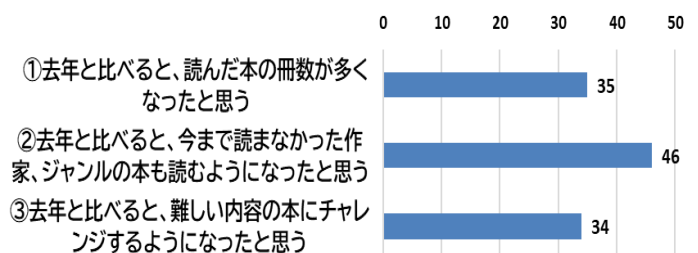
問：あなたは、読む本をどのように用意していますか？(あてはまるものすべて選択)



問：あなたは、読書についてどのように考えていますか？(3つまで選択)



問：この1か月に読んだ本について、あてはまるものをすべて選んでください。



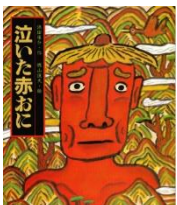
先生方のおすすめ本を紹介します！ Part4

山中優杏先生『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』ブレイディみかこ/著 新潮社



イギリスに住む著者がミックスである息子(僕)の中学校生活を綴ったノンフィクションの本です。みなさんと同じ中学生の「僕」が様々な差別を目にします。「僕」が人種差別や貧困、多様性などについてどのように考えているのかを知るのも面白いし、みなさん自身がそれらのトピックについて考えることができるいいきっかけにもなるかなと思います。

長峯静子先生『泣いた赤おに』浜田 廣介 // 作 偕成社



子どものころに読んでもらったことはありませんか。
お菓子とお茶を用意して、人間と仲良くなりたかった赤おにのお話です。でも、赤おににはそのために一番大切なものを失ってしまいます。中学生になると見えてくるものがたくさんあります。
何度読んでも感動します。心揺さぶられる一冊です。
ぜひ読んでみて下さい。読み聞かせや動画…いろいろありますよ。

大森優人先生『NEW ELITE』ピョートル フェリクス グジバチ/著 大和書房



時代の変化が激しい中、これからの生き方や考え方、新しい価値観に触れさせてくれます。本当に頭の良い人とは？本当のエリートとは？と深く考えさせられます。著者のピョートルさんは Google で人材育成をされていた方で、もう日本に長らく住んでいます。世界を変える人たち、0から1を生み出す人の考え方って本当すごいなあ～と思います。自分の未来が社会の未来を作っていきます。このページをたまたま読んでくれたアナタにも、未来を作る重要な役割があるんです。利他的に動いていこう！